

就職支援の環境として委託訓練にB検活用

CBT方式で受験しやすく、合格により再就職の自信も

鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

1986年に創立された鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校は、卒業生の多くが三重・鈴鹿市を中心とする地元で活躍する地域密着の専門学校。介護福祉科、医療秘書科、日本語科の正規課程のほか、1999年から行政の委託職業訓練を行い、現在3種類の職業訓練コースでB検を活用しています。訓練講座の企画・運営を行う生涯学習課の中川弘美先生に活用状況を聞きました。

訓練講座の学科プログラム「職業能力基礎講座」にB検導入

同校では現在三重県の委託を受け、パソコンオフィスワーク科、医療ビジネス科、事務スペシャリスト科、介護初任者PC科、かいごスキルアップ科(外国人対象)の5つの職業訓練コースを年に9〜10コース開講しています。B検はそのうち介護系・外国人コースを除く3つのコースに導入。「それまでは社会人としての一般常識を測るために別の検定を利用していましたが、B検の内容のほうがより幅広い仕事に活かされると切り替えました」と中川先生は振り返ります。パソコンオフィスワーク科では広く一般事務に求められる文書作成や表計算、データベースなどのパソコンスキルを学び、事務スペシャリスト科は主に経理関係の就職を視野に簿記検定試験にも挑戦します。医療ビジネス科は病院やクリニックの就職を目指して診療報酬請求事務の基礎理解などに力を入れています。「少しずつ特色が異なりますが、コミュニケーション力やビジネススマナートといった汎用的な社会人スキルはどのコースにも必要な学びです。そのため各コースで学科の『職業能



力基礎講座』の授業においてB検の学びを採り入れています。就職支援の一環という位置付けです。授業は基本的に3級と2級のテキストを使って進めていきます。講師によって特色はありますが、電話応対や携帯電話のマナーなどは先生がロールプレイングを行って実践的に教えています。また「仕事に大切な8つの意識」などの単元や「ジョハリの窓」(*)による自己分析や自己理解といったテーマの時には、グループディスカッションを通してさまざまな意見を交わしながら理解を深めています。「そのほか時事用語を重視したり、CSRといったビジネスの3文字英語の1覧を作ったりと、講師それぞれに工夫されています」と中川先生。「キャリアコ

ンサルタントの資格がある方もいるB検についても詳しいので、さらにB検の授業に力を入れてもらうようお願いしています」。

就職活動が本格化する2か月目に差しかかる前に検定試験を行っていただきます。医療ビジネス科は講座修了後に実施しています。どの級を受験するかは訓練生の自己判断に任せ、当日の授業が終わった後に希望者全員で一台ずつパソコンに向かっています。

「私はこの秋から試験監督を務めています。訓練生の反応が興味深いです。試験終了前に試験監督に声をかけるよう呼びかけていますが、先に終了してすぐに結果を確認する方も。時には落胆の叫び声を上げる方もいて、私も内心残念がっています。逆にガッツポーズをとる方には思わず拍手。皆さん大人ですから淡々と試験勉強されているのですが、そうした反応を見るとやはり熱意をもって取り組んでいるのがわかって嬉しいですね。『人生の中でいま一番勉強しています』という声もよく聞きます。講座の担当として受講生と3か月間をともに過ごしますので、喜び合ひ、励まし合うためにも合格の瞬間を共有するようにしています」。

「私はこの秋から試験監督を務めています。訓練生の反応が興味深いです。試験終了前に試験監督に声をかけるよう呼びかけていますが、先に終了してすぐに結果を確認する方も。時には落胆の叫び声を上げる方もいて、私も内心残念がっています。逆にガッツポーズをとる方には思わず拍手。皆さん大人ですから淡々と試験勉強されているのですが、そうした反応を見るとやはり熱意をもって取り組んでいるのがわかって嬉しいですね。『人生の中でいま一番勉強しています』という声もよく聞きます。講座の担当として受講生と3か月間をともに過ごしますので、喜び合ひ、励まし合うためにも合格の瞬間を共有するようにしています」。

委託職業訓練にもB検が有益なのは明らかですが、その前提として都道府県のハローワークや厚生労働省が、訓練講座を開講していることが広く周知されなければなりません。「残念ながらご存じない方がまだ多くいらっしゃるのが現状です。ハローワークに来て初めてこうした講座の存在を知り、入校手続きの期限ギリギリに申し込まれる方もたくさんいます」と中川先生。「本校でもホームページの案内を充実させたり、外国人対象のコースの場合は外国語のチラシを作成して商店街の店舗に配ったりと工夫していますが、まだ手探りの状態です。今後はSNSを活用した広報活動なども視野に入れていきます。行政、講座運営者、地域が協力して、必要な方に速やかに情報を届けられるように進めていけたら良いですね」と課題を語ってくれました。

※1:自己分析の際に使用する心理学モデル。コミュニケーションの円滑な進め方を考えるために提案された。
※2:コンピュータを利用して行う試験の総称。利用者の希望日時に受験できる、即時に採点できる、受験者ごとにランダムな問題を出せるなどの利点がある。B検のCBT試験は、団体の施設を会場にし、希望する日時に受験できる。(要事前出願)

「再就職の自信につながる効果も課題は訓練講座の周知徹底」訓練生のバックボーンは介護職をして再就職を目指す人、子育てが一段落した人などさまざまですが、「最近では40代から50代の訓練生が増えており60代も珍しくありません。人生100年時代を象徴するかのよう再就職を望む年齢層が上がっています」と中川先生。一方、中途採用を行う企業側は長期キャリア形成のための若手採用を別にすると、「一番は即戦

力としてどれだけ仕事ができるかを重視。そのうえで職場の環境に自分を合わせられる協調性や、コミュニケーション力などのヒューマンスキルが高い人を求めています」と指摘します。離職したとはいえ長年の就労経験で培った知見を持つのが40代以上の強みですが、「体力が落ち、フランクもあるのでどうしても再就職への自信が持てないという方が割と多くいらっしゃいます。当校は訓練生と距離が近く、私もいろいろな相談を受けるのですが、3か月という短い期間ではサポートも限られますので親身に話を聞くだけで精一杯。B検の学びと検定合格はそんな訓練生にとって、自分の仕事能力に対する自信につながるの間違いありません」。

委託職業訓練にもB検が有益なのは明らかですが、その前提として都道府県のハローワークや厚生労働省が、訓練講座を開講していることが広く周知されなければなりません。「残念ながらご存じない方がまだ多くいらっしゃるのが現状です。ハローワークに来て初めてこうした講座の存在を知り、入校手続きの期限ギリギリに申し込まれる方もたくさんいます」と中川先生。「本校でもホームページの案内を充実させたり、外国人対象のコースの場合は外国語のチラシを作成して商店街の店舗に配ったりと工夫していますが、まだ手探りの状態です。今後はSNSを活用した広報活動なども視野に入れていきます。行政、講座運営者、地域が協力して、必要な方に速やかに情報を届けられるように進めていけたら良いですね」と課題を語ってくれました。

試験対策の効率化を図り、合格率を上げる

「試験合格.COM」

【ITパスポート試験】
【情報セキュリティマネジメント試験】
【基本情報技術者試験】
【応用情報技術者試験】

<https://shiken-5kaku.com/>

全国の【認可校の専門学校】だけを
検索できる専門学校の進学情報サイト

専門学校ナビ®

きっと見つかるあなたが
本気になれること

www.senmon-navi.com

ホームページ制作
システム開発
広告運用
コンサルティングなら
私たちにお任せ下さい!

株式会社リードガイダンス
www.leadguidance.co.jp

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-21-1 609
TEL: 03-5960-7475 FAX: 03-5960-7476

歯科予約管理ツール

LeadPeer

導入のメリット

患者さんが簡単に予約できる
患者・予約情報を一元管理
院内スケジュールを把握
既存予約システムと連動可

2023年 中旬 サービス開始予定

就職活動の前に!

文部科学省が後援する資格「B検」を取得!

ビジネス能力検定ジョブパス

3級公式テキスト 85判、160ページ、価格2,200円(税込)

2級公式テキスト 85判、168ページ、価格2,200円(税込)

3級公式試験問題集 85判、200ページ(別冊56ページ)、価格1,430円(税込)

2級公式試験問題集 85判、208ページ(別冊56ページ)、価格1,650円(税込)

留学生向けふりがな付き3級公式テキスト 85判、176ページ、価格2,530円(税込)

1級公式試験問題集 85判、136ページ、価格1,980円(税込)

2023年版

ビジネス能力検定(B検)ジョブパスは、文部科学省の後援でビジネスマナーやビジネススキルの知識を習得し、社会人の仕事能力を客観的に評価する検定試験です。専門学校生をはじめとして、高校生、短大生、大学生、社会人の幅広い層が受験しています。

監修：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

JMAM 株式会社 日本能率協会マネジメントセンター

●〒103-6009 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー TEL 03-6362-4339(代)
●ホームページで新刊書籍をご案内しております。 <https://pub.jmam.co.jp/>

東京電子専門学校 電子技術科

「人と関わる力」を学ぶビジネスマナー習得

社会人基礎力を含め体系的な授業を展開

東京・豊島区にある東京電子専門学校は、戦後、日本で最初のラジオ技術学校として発足した技術系職業教育の伝統校。現在は電気・電子、情報システム、医療技術の3系統に10学科を設置しています。なかでも電気・電子系の「電子技術科」では就職支援を強化するため10年以上にわたりB検を活用した授業を展開。企業等に選ばれる人材を輩出し続けています。

就職支援に直結するB検に着目

東京電子専門学校の電子技術科がB検を導入した背景をさかのぼると、同科の前身であるテレビ技術科の時代に行き着きます。テレビが真空管からトランジスタに進化したことにより、入学者層もそれまでの家電店の跡継ぎから、最新技術を学んで就職したい若者が中心に、「就職試験に備えてビジネスマナーを教えないければ」と、一般教養科目の中に急遽開講しました」と振り返るのは学部長の田中義敏先生です。当初より講師は外部から専門家を招いてきました。山際能理子先生が担当になってこの15年は二人三脚で授業改善を図ってきましたが、「その過程でB検を知り、ビジネスマナーを体系立てて学ぶとともに、資格取得を到達点とする枠組みに魅力を感じました。履歴書に書ける資格名がひとつ増えるのもポイントでした」と田中先生。こうした経緯から同科のB検の授業は就職支援に直結しています。



電子技術科・電気工学科の田中学部長

付いた知識がすぐに役立つからです。またビジネスマナーを効果的に習得するために1年前期の「一般教養」にも力を入れていきます。「特に今の学生たちはSNSに依存しがちでリアルな人との関わりが苦手なことから、ここ数年はほぼ対人コミュニケーションに特化しています」と山際先生。ペアを組んだ学生が交互に声の出し方などを評価するといった「楽しみながら人との関わりを学べる」課題を工夫しています。なかでも印象的なのがフアシリテーターとしての山際先生の手法。90分の授業を飽きさせないため、20分ごとに「挨拶」「お辞儀の仕方」などとテーマを変え、8分に一度は質問したり教科書を読み合わせたりと参加を促しています。この「90・20・8の法則」はフアシリテーションの鉄則とされますが、授業実践にも大いに活かそうとしています。

学生たちが飽きない授業を3級合格に向け小テスト実施

専門学校生の就職活動は1年生の後半から始まるため、B検の授業は1年後期の「ビジネスマナーI」、2年前期の「ビジネスマナーII」で実施しています。就職活動と並行するのは、身に

そのうえで「ビジネスマナーI」では「B検3級に100%合格!」をスローガンに掲げて一体感を高め、3級

テキストに沿って進めていきます。授業の終わりには毎回10問の小テストを行い、満点が取れなければ課題を出しています。「小テストを導入してから

専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ

ビジネスマナーから社会人意識の涵養まで

卒業後の円滑な移行見すえてB検を活用

九州・福岡市にある西鉄国際ビジネスカレッジは、ホテルからブライダル、旅行観光、鉄道・航空エアライン業界などグローバル社会で活躍できる人材を育成する専門学校です。設置する6学科のうちエアライン科、国際ビジネス科、鉄道科、夜間総合観光科、および留学生コースの国際ホテルマネジメント科の授業にB検を導入。またホテル・ブライダル科の就職活動講座でも活用しています。各科共通の教え方や相違点などを聞きました。

前期はビジネスマナーを中心に学科ごとにきめ細かく指導

導入する4学科の授業で「ビジネスマナー」、および国際ホテルマネジメント科の「ホスピタリティ概論」でB検を教える田中友加利先生は同校の卒業生。ホテル勤務を経て教員になりました。同校は早くからB検を導入しており、田中先生も在学中に学んで「社会人になるにあたり、とても役立ちました」と振り返ります。

1年次に開講する「ビジネスマナー」はエアライン科と国際ビジネス科が合同授業で、他のクラスは単科で実施。どの学科も前期は基本的にB検に沿っ

予習復習が徹底されるようになりました。満点という「小さな成功体験」を積み重ねることで自信もやる気も高まっています。合格時には、自分で掴みとった合格という感覚を持てるようにもっていきます。」(山際先生)。

「ビジネスマナーII」では就職内定とB検2級合格が目標。「就職活動と同時はきついかもかもしれませんが、応用編の勉強を『自分事』にすることで就職力も身に付きます」と山際先生。例えば事業戦略の立案によく使われるSWOT分析では自校を対象にし、班ごとに分かれて作業、発表します。プレゼ



4科目の授業を担当する山際先生

ン力の強化はもとより、自分がどこまで発言するか、相手の意見をどこまで受入れるかなどの学びがグループ面接等にも役立っています。また山際先生は社会人になる前の仕上げとして2年

学生が「手本」になるよう、他の学科も効果を実感

後期の「社会人基礎力」も担当。課題発見力や論理的思考をテーマとするグループワークでの演習が中心ですが、ここでも落とし込みとしてB検2級のテキストを使用しています。就職支援に活用しているB検です。授業の効果は学校生活にも現れています。「電子技術科の学生は挨拶の声が明るく大きく、物言いもハキハキしているのでも「山際先生のクラスの予習復習が徹底されるようになりまし

ビジネス文書の書き方を通して日本の制度や経済を学ぶ

ホテルへの就職を目指す留学生が集まる国際ホテルマネジメント科では、3年次の選択授業「ホスピタリティ概論」の受講者のうち、N1以上の学生がB検に挑戦します。「彼らは優秀なうえ、アルバイト経験も豊富でビジネス用語にも詳しいのですが、唯一知らないのでビジネス文書の書き方です」と田中先生。B検対策ではその指導を行う過程で、年次有休や産休・育休など日本独自の制度も教えて企業理解を促しています。また高度成長期やバブル期といった日本経済の推移などは、当時の画像をふんだんに見せて把握できるように努めています。

なお、同校では最終学年に全科共通の「フレッシュヤース教育」という授業があり、就業規則や職場の人間関係など仕事に直結するテーマはもちろん、アフターファイブの過ごし方やストレスへの対処法まで広く社会人になるための準備を行っています。学生たちが円滑に社会に移行するためのさまざまな取り組みのなかで、B検の学びが幅広く活かされています。



鉄道科の学科長も務める田中先生

てビジネスマナーを習得し、後期は3級合格の試験対策に集中します。科ごとの違いでは、エアライン科・国際ビジネス科のマナー教育がきわめて実践的です。特にエアライン科は授業を受けながら企業に通う実習制度が1年の6月頃から始まり、また夏休み

には遠方の空港で実習を行うため、「お辞儀の仕方から研修で講師の話や聞くときの傾き方、教室のどこに座るかまできめ細かく指導しています。高校を出たばかりの学生たちが大半ですの

「アルバイトの経験のない学生もおり、社会をよく知りません。ただ、鉄道科は男子学生が多数を占め、質問も活発で吸収力も高いため、発言しやすい雰囲気づくりを心がけています」。一方で、昼間に働く学生が多い夜間総合観光科は、「比較的ビジネスマナーが入りやすい」と感じるそうです。さらに、「これは全科に共通することですが、意外と『ビジネス用語』が身に付いていません。例えばコンビニでアルバイトをしている学生でも『ポスレジ』や『キャッシュアウト』を知りません。B検ではビジネス用語の出題もあるため、どの学科も前期から用語を学ぶようにしています」と田中先生。

「アルバイトの経験のない学生もおり、社会をよく知りません。ただ、鉄道科は男子学生が多数を占め、質問も活発で吸収力も高いため、発言しやすい雰囲気づくりを心がけています」。一方で、昼間に働く学生が多い夜間総合観光科は、「比較的ビジネスマナーが入りやすい」と感じるそうです。さらに、「これは全科に共通することですが、意外と『ビジネス用語』が身に付いていません。例えばコンビニでアルバイトをしている学生でも『ポスレジ』や『キャッシュアウト』を知りません。B検ではビジネス用語の出題もあるため、どの学科も前期から用語を学ぶようにしています」と田中先生。